

数学 立命館大学 全学統一方式[文系] (2/2実施)

<全体分析>

試験時間	80分	解答問題数	3題
------	-----	-------	----

解答形式

I・IIは空所補充形式、IIIは記述様式

分量・難易 (前年比較)

分量 (減少・やや減少・**変化なし**・やや増加・増加)

難易 (易化・やや易化・**変化なし**・やや難化・難化)

出題の特徴や昨年との変更点

読解力が問われる長文問題が出題されている。

その他トピックス

特になし。

<大問分析>

問題番号	出題分野・テーマ	範囲	コメント (設問内容・答案作成上のポイントなど)	難易度	
I [1]	データの分析	数I	平均値、標準偏差を求める 相関を調べる	標準	
	[2]	指数関数	数II	指数の計算	標準
	[3]	2次関数 積分法	数I 数II	絶対値つき2次関数のグラフ、方程式への応用 面積と積分	標準
II	確率 式と証明	数A 数II	反復試行の確率 相加平均・相乗平均の大小	やや易	
III	空間図形	数C	球面と直線の交点	標準	

※難易度は5段階「易・やや易・標準・やや難・難」で、当該大学の全統模試入試ランキングを基準として判断しています。

<学習対策>

Iの小問集合は難易度はさほど高くないが、作業量が多いので典型問題を多く解き、素早く正確に計算できるようにしておこう。

IIのような日常のテーマに対して数学的モデルを設定して考えさせる問題は題意を把握する読解力が問われる。長文問題にも積極的に取り組み、自分で問題を分析する力を養っておこう。